

今後の議題等について

1 今後の議題について

- ・市長からの諮問に対し、取り組むべき視点の5つの課題のうち、「②若者に魅力のある環境づくりや地元定着、生産性向上による人手不足への対応」、「④魅力ある小樽産品の開発と国内外への販路開拓・拡大」については、答申として3つの提言を行う予定であることから、今後の議題について御意見を伺いたい。

案1 取り組むべき視点のうち、事業化していない課題についての議論を開始する

「事業化していない課題」

- ①産学官金連携による共同研究やものづくりなどの支援
- ③地域特性を生かしたビジネスの創出支援と事業承継
- ⑤観光消費の地域内循環

①について、共同研究については商大及び能開大が、ものづくり支援については、ビジネス EXPO への共同出展や技術開発促進事業などを市が行っているが、「長期的な取組になる」、「既にやっていることを続けていけばいいのでは」という意見があった。

③について、「市外の方を、どう創業につなげていくかが重要」、「後継者不在の事業者と起業したい方とのマッチングは面白い取組だと思う」という意見があったため、若者の地域定着という視点から、今回の答申で市に対して「創業環境を意識した事業承継への取組を推進すること」を提言するところである。

⑤について、「キャッシュレスが導入できていない地域もあり、情報を追うのが難しい」、「データを解析する人が必要で、どこからその人を連れてくるのか」という意見があることや、産業連関表については、今後、分析が必要な状況にある。

- ・第1回（H30.11月）及び第2回振興会議（H31.1月）における各委員の意見から見えてきた課題を「取り組むべき視点」として整理し、議論してきたが、上記のような意見があったことや新型コロナの影響などにより、当時と状況が異なってきていることから、改めて課題を整理する必要があるのではないか。

案2 現在、実施している市の事業の検証を行う

- ・市が実施している事業には、「取り組むべき視点」に対応するものもあることから、残り3つの課題に係る事業も含めて検証を行うことにより、「取り組むべき視点」に対応した支援策をはじめ、その時々々の状況に応じた支援の検討を進めていくことができる。

- ・提言に基づき、次年度に市が実施する予定の事業についても検証していくことは必要。

①事業の検証 → ②不足している支援、事業の見直し → ③必要な支援策の検討 → ④提言

2 今後の進め方について

- ・現在は、業界団体に委員を選出していただき、市が委嘱しているが、前回の振興会議において、若手経営者に委員になってもらい、事業の詳細などを詰めていくべきとの意見があった。
- ・議題が決まり、詳細を詰めていく必要がある場合、各委員の所属団体から若手経営者を選出してもらい、常設ではなく任意の会議を設け、議論するなどの方法も考えられるが、今後の議論の進め方について御意見を伺いたい。